

研究機関：広島大学

研究課題名	脾損傷後における脾臓容積の変化に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
研究期間	2017年7月14日（倫理委員会承認後）～ 2020年3月
対象者	2009年1月から2016年12月の間に、広島大学病院で脾損傷と診断された患者さんのうち、来院時のCTとその後経過をみるためにCTをもう一度撮影した患者さん。
意義・目的	脾損傷以外の外傷によって脾臓が縮小することが過去の研究で報告されていますが、脾損傷自体ではまだ解明されていません。今回、脾損傷後に脾臓が大きくなっているのではないか、という臨床的疑問を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、血液検査（血小板数）、2回のCT（脾臓の容積、出血の有無）、外傷の程度、全身の外傷の重症度、カテーテルでの治療の有無、治療に用いた物質、その後の経過（生死）です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）
共同研究機関	なし 広島大学（研究責任者 栗井和夫）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5257 広島大学病院放射線診断科 准教授 馬場 康貴